きっとしょかんだより



2025年10月号 vol.5



テーマ「色がいろいろ!」



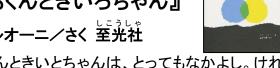
芸術の剝がやってきました。たくさんの色で、あそんでみない?



えほん

『あおくんときいろちゃん』

レオ・レオーニンさく至光社



あおくんときいとちゃんは、とってもなかよし。けれ ど、なかよしすぎて少しこまったことに…。

『いろいろへんないろのはじまり』

アーノルド・ローベル/さく 富山房

むかし、世界ははい色で、今のように色がありま せんでした。まほうつかいが最初に青を作って、 まいる。あか、つく、だ 黄色と赤も作り出しましたが、それ以外の色がな かなか作り出せず…。

『みどりおばさん、ちゃいろおばさん みどりおばさん、ちゃいろおばさん むらさきおばさん

むらさきおばさん』

エルサ・ベスコフ/さく・え

ふくいんかんしょてん 福音館書店

庭の主入れがとくいな、みどりおばさん。おかし作 りがとくいな、ちゃいろおばさん。ベリーシロップを 作るのがとくいな、むらさきおばさん。この 3 人とく らせたら、とても楽しそうだとおもいませんか?

『カラーモンスター きもちはなにいろ?』

アナ・レナス/さく 永岡書店

じぶんのきもちに、色をつけてみよう。たとえば、 うれしいきもちは、きいろ。かなしいきもちは、 ***いる。 青色。あなたの心には、どんな色のモンスターが いるかな?

武田康男/写真 岩崎書店



にじが見えるしくみがわかる、きれいな写真の ぇょん **絵本です**。

『あかいはっぱきいろいはっぱ』

ロイス・エイラト/さく

福音館書店



ッ゚。 秋は、みどり色のはっぱが、赤やきいろにかわる ^{きせっ} 季節です。色のうつりかわりを、楽しんでみよう。

ものがたり

『パインさんのむらさきのいえ』

レオナード・ケスラー/さく 大日本図書

パインさんは、すてきならい家に住んでいます。 けれど、ある首ペンキでむらさき色にぬろうと思い 立ちます。その理由は…?低学年から。

『みどりいろのたね』

たかどのほうこ/作 福音館書店



まあちゃんは、みどり色のたねといっしょにメロン 。 味のあめだまも植えてしまいます。このあめだま、 思わぬところで役に立つのです。低学年から。

『小さな山神スズナ姫』

富安陽子/作 偕成社

世間の木々が秋になると色を変えるのは、山神さまのおかげです。はやく山神さまになりたいスズナでが、「木の葉ぞめ」に挑戦します。中学年から。

『ぼくの色、見つけた!』

志津栄子/作 講談社

主人公は、赤色をうまく判別できない「色覚障が もしんたろうなや い」を持つ信太朗。悩みながらも自分と向き合う信 たろう ゆうき 太朗に勇気をもらえる物語。高学年から。

『いろどり屋』 廣嶋玲子/作 静山社

たいろどり屋の店主は、色をつくりだす魔法使いテン。この店にはいろんなお客さんが訪れます。あるとき 、は、失恋した女の子の涙から、冬の寒空のような灰色を作り出したり…。高学年から。

そのた



『脳と目がカギ!色のふしぎ』 たけうち たっと 竹内龍人/著 誠文堂新光社

色を見るために、脳はどんなはたらきをしているのでしょうか。だれもが同じように色を感じているのでしょうか。色に関する疑問に答える1冊。

『かっこいいピンクをさがしに』 (たくさんのふしぎ2024年3月号) なかむらるみ/文・絵 福音館書店 ピンクって 女 の子の色なの?

世界中の方に取材をして、ピンクの魅力をさぐっていきます。

『やさしいかがくの工作 10 いろのこうさく』

竹井史郎/著 小峰書店

まわすと色がかわるコマ。にじのつくりかた、色のついた影の作り方など、色を楽しむ工作がもりだくさん。この本を読んで、あそんでみよう。

『なんで人は青を作ったの? ― ***いるの歴史を探る旅―』

谷口陽子/著 新泉社

青色は自然界にはほとんど存在しないため、古代から人間は青をつくるために、さまざまな工夫を凝らしてきました。その歴史を一緒にたどってみましょう。

>

^{かき} 秋のおたのしみ会(ひがし)

10月25日(土)

秋のおはなし会(にし)

10月25日(土)



ひがしとしょかん

☎62-0190 (木よう日やすみ) 10:00~18:00 (金よう日は19:00まで)

にしとしょかん

☎75-5406 (月よう日やすみ)
10:00~18:00 (火よう日は19:00まで)